
土木の日バスツアー 親子でふれあう土木バスツアー

●主催：「土木の日」熊本実行委員会

問合せ先 九州電力熊本支店土木建築グループ
TEL 096-386-2240
メール

★2007年度実施結果

1. 概要

小中学生とその保護者の方 計87名で佐賀県松浦郡玄海町にある玄海エネルギーパークへ行き、原子力発電所のしくみと発電所における土木技術を知っていただきました。

2. スケジュール

2007年11月11日（日）午前7時半～18時

7時40分 出発（県庁プロムナード前）

（移動：九州・長崎自動車道 経由）

11時～11時40分 昼食

11時50分～14時30分 玄海エネルギーパーク

エネルギー館・発電所構内見学、自由行動

（移動：長崎・九州自動車道 経由）

17時25分 帰着（県庁プロムナード前）



3. 開催状況

エネルギー館見学状況



4. 参加者の皆さんの意見(抜粋)

①今、電気は人が生活する上でなくてはならないものになっています。その電気を作る基礎に土木の技術が使われていますが、「電気と土木」のつながりについて、どんなイメージを持っていますか、または持っていましたか？

- ・電気と土木はつながりはないと思っていたが、深くつながりのある事がわかった。
- ・電気は生活で必要なもので、土木の新しい技術でコンパクトで安全な発電所を作っているのにびっくりした。子供達も楽しく過ごせた。
- ・基礎が大事だとは今日初めて知った。スケールがこんなに大きい事を知りびっくりした。そしてきちんとしてあるのにびっくりした。
- ・電気を作るのに自然の力もすごく大切だと感じていたが、土木技術も大事であると気づかされた。親子で資源の大切さを改めて考えさせられた。
- ・安全を確保するため、土木技術が生かされていることを知った。
- ・土木技術によって安全な発電所があり、電気が作られている事がわかった。
- ・高度な土木技術の上に安定した電気の供給が実現されていることを理解できた。
- ・原子力発電所が地震・耐久性に優れた地質を考えた場所に建設された事を初めて知った。
- ・土木は電気とつながらなかったが、発電所へ行き、勉強になった。
- ・1つの物を作り上げるのには多くの人々(技術者)を要するのだと改めて知った。
- ・土木技術の素晴らしさ、建設に携わった人々の苦労が偲ばれる。
- ・説明のあった玄海原子力についてはよくわかったが、土木とのつながりまでは詳しい説明が無く土木技術と原子力発電所とのつながりが子供にはわかりにくい。

②その他

- ・玄海原子力発電所を見学して有意義であった。100%大満足。原子力は人工ウランを使って不思議。
- ・とても充実していて子供の勉強になった。数十年ぶりの社会見学ができて勉強になった。
- ・何気なく電気を使っていたが、地球規模で節約節電また環境のことも考える良い機会であった。電力の大切な事を知った。また大人まで勉強させていただいた。

以上